

Ⅷ 2023 年度事業の点検・評価及び 2024 年度の事業計画

1 概要

文部科学省告示「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」(2012.12)では、公共図書館は、当該図書館の基本的な運営方針を踏まえて策定した指標及び目標と事業計画について、毎年度、自己及び関係者・第三者による点検・評価を行い、P D C A サイクルによる進捗管理の実施に努めることとされている*。

当館では、2014 年度から「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」に準拠した基本的運営方針を策定するとともに、これを踏まえた毎年度の事業計画を策定し、事業計画及びその達成状況について、当館及び図書館専門委員会による点検と評価を実施している。

2024 年度は、2024 年 7 月 5 日(金)に図書館専門委員会を開催した。「第二期愛知県図書館の基本的な運営方針(2023-2027)」(第二期基本的運営方針)に基づく 2023 年度事業の達成状況の点検と評価を実施し、2024 年度の事業計画を策定した。

*「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」第二(公立図書館)の一(市町村立図書館)の 1(管理運営)の(一)(基本的運営方針及び事業計画)及び(二)(運営の状況に関する点検及び評価等)を参照。第二の一に定める市町村立図書館に係る基準は、都道府県立図書館に準用される(第二(公立図書館)の二(都道府県立図書館)の 6(準用)を参照)。

2 2023 年度事業の点検・評価

① 数値目標の点検・評価

目指すべき姿	数値目標	2023 年度数値目標	2023 年度達成状況	評価	策定時の現状
1 すべての県民の「知りたい」に応える図書館	蔵書検索アクセス数	2,100,000 回	3,064,972 回 (達成率:146.0%)	A	2,085,425 人
	利用者の満足度	「来館の目的達成度」が現状(2021 年度 85.6%)を上回る	来館者アンケートでの「来館の目的達成度」が 84.0% (達成率:98.1%)	B	85.6%
2 情報発信・交流活動の拠点としての図書館	SNS の閲覧数と発信数	発信数:1,000 件 閲覧数:900,000 件	発信数:1,169 件 (達成率:116.9%) 閲覧数:727,515 件 (達成率:80.8%)	B	発信数:974 件 閲覧数:866,477 件
	企画展示・イベントの実施回数	展示:50 回 イベント:70 回	展示:80 回 (達成率:160.0%) イベント:96 回 (達成率:137.1%)	A	展示:48 回 イベント:26 回
3 ネットワークのハブとなる図書館	県内図書館等への協力貸出数	16,000 冊以上	14,517 冊 (達成率:90.7%)	B	15,336 冊
	市町村立図書館経由で貸出を利用する学校数	22 校から 24 校に拡大	22 校から 28 校に拡大 (達成率 116.7%)	A	22 校
4 デジタル技術の活用により新たな社会に対応する図書館	電子書籍へのアクセス数	現状(月平均 5,541 件)を上回る	5,380 件 (達成率:97.1%)	B	5,541 件
	デジタルアーカイブ公開数	1,131 タイトルから 1,140 タイトル以上に拡大	1,147 タイトル (達成率:100.6%)	A	1,114 タイトル
5 持続可能なサービス環境を備えた図書館	職員研修の受講者数	延べ 500 人以上	761 人 (達成率 152.2%)	A	488 人

左表のように、「蔵書検索アクセス数」、「企画展示の実施回数」、「イベントの実施回数」、「職員研修の受講者数」が目標値を大きく上回ったほか、「SNS の発信数」、「市町村立図書館経由で貸出を利用する学校数」、「デジタルアーカイブ公開数」が目標値を達成した。「利用者の満足度」、「SNS の閲覧数」、「県内図書館等への協力貸出数」、「電子書籍へのアクセス数」は、目標値の 8 割以上となっている。全体として、目標値を概ね達成しており、事業が順調に進捗したことを反映した結果となっている。

※ 事業計画の点検・評価については、「あいち文化芸術振興計画 2022 年次報告書」の評価区分（下表）を使用。

評価区分	目標達成状況（評価の目安）	
A	予定を上回る効果があり、着実に進捗	100%以上
B	予定どおり進んでおり、概ね順調に進捗	80%以上 100%未満
C	一部で予定どおり進んでおらず、やや進捗が遅れている	60%以上 80%未満
D	予定どおり進んでおらず、進捗が遅れている	60%未満

② 事業計画の点検・評価

87 の事業項目のうち、新規事業の主な取組状況は下記のとおりである。（詳細については、24～41 ページの別表を参照）。

ア 「すべての県民の「知りたい」に応える図書館」に向けた取組（32 事業）

- ⇒ ・障害を持つ方への郵送貸出サービスの対象を拡大した。
- ・雑誌スポンサー制度にて、15 の企業・団体から 37 誌の提供を受け、資料の充実を図った。
- ・地域づくりに関わる方々への支援を目的とした「地方行政・まちづくり支援コーナー」を開設した。

イ 「情報発信・交流活動の拠点としての図書館」に向けた取組（13 事業）

- ⇒ ・「あいち県民の日」に関連する展示を 2 件、イベントを 3 件実施した。
- ・読み聞かせボランティアの追加募集を実施した。

ウ 「ネットワークのハブとなる図書館」に向けた取組（22 事業）

- ⇒ ・県図書館と市町村立図書館職員との人事交流を 3 市との間で試行実施した。
- ・学校貸出用セットを用意し、県立学校等への貸出しを実施した。

エ 「デジタル技術の活用により新たな社会に対応する図書館」に向けた取組（8 事業）

- ⇒ ・県・市町村が発行したボーンデジタル資料（ボーンデジタル行政資料）103 件の当館 Web サイトでの公開を試行実施した。
- ・Web サイト上で簡易な問合せに対応できるチャットボットを本格導入した。

オ 「持続可能なサービス環境を備えた図書館」に向けた取組（12 事業）

- ⇒ ・閉架書庫内の書架を増設した。

以上の結果から、事業計画は概ね順調に進捗したと評価した。

3 2024 年度の事業計画

2024 年度は、同方針の施策体系に基づき、87 事業を実施する。（詳細については、24～41 ページの別表を参照）

① 数値目標

第二期基本的運営方針で設定した以下の 9 項目の数値目標に向けて取り組む。

目指すべき姿	目標	備考
1 すべての県民の「知りたい」に応える図書館	● 蔵書検索アクセス数 2,100,000 回	
	● 利用者の満足度 来館者アンケートでの「来館の目的が達成できた」が現状(2021 年度:85.6%)を上回る	
2 情報発信・交流活動の拠点としての図書館	● SNS の発信数と閲覧数 ・発信数 1,000 件 ・閲覧数 900,000 件	
	● 企画展示・イベントの実施回数 ・展示 50 回 ・イベント 70 回	
3 ネットワークのハブとなる図書館	● 県内図書館等への協力貸出冊数 16,000 冊以上	
	● 市町村立図書館経由で貸出を利用する学校数 28 校から 34 校以上に拡大	第二期基本的運営方針の目標 :2027 年度までに 35 校
4 デジタル技術の活用により新たな社会に対応する図書館	● 電子書籍へのアクセス件数 現状(2022 年度上半期:5,541 件)を上回る	
	● デジタルアーカイブ公開数 1,147 タイトル以上に拡大(※)	第二期基本的運営方針の目標 :2027 年度までに 1,140 タイトル
5 持続可能なサービス環境を備えた図書館	● 職員研修の受講者数 延べ 500 人以上	

(※) デジタルアーカイブ公開数

…2024 年度は、公開中デジタルアーカイブを新システムに移行させるための準備を実施するため、目標を 2023 年度に達成した数値 (1,147 タイトル) 以上とする。
2023 年度末時点で、第二期基本的運営方針の目標値 (2027 年度までの目標) を超えているが、2025 年度以降に上方修正を検討する。

② 主な事業内容

ア 「すべての県民の「知りたい」に応える図書館」に向けた取組

- ⇒ ・資料やサービス環境を整備し、利用者のニーズに応えるサービスを提供
- ・読書バリアフリー推進チームを中心に、読書に障害がある方に対する読書活動を推進 (新規)

始め 32 事業

イ 「情報発信・交流活動の拠点としての図書館」に向けた取組

- ⇒ ・企画展示や講演会を開催し、県政の情報発信と所蔵資料の一層の利活用を促進
- ・SNS (Facebook、X (旧 Twitter)、YouTube) による情報発信の充実
- ・話し合いができるグループ学習席など、人が集まり交流する明るい空間を提供

始め 13 事業

ウ 「ネットワークのハブとなる図書館」に向けた取組

- ⇒ ・県内市町村立図書館との資料搬送定期便を運行

- ・市町村立図書館等へ年間 16,000 冊以上の資料を協力貸出
- ・県図書館と市町村立図書館職員との人事交流を本格実施（新規）
- ・県立学校最寄りの市町村立図書館を經由した協力貸出の対象校を拡大
- ・東海北陸地区公共図書館研究集会を、集合形式のほか、オンライン形式を採用し、参加受講しやすいように開催（新規）

始め 22 事業

エ 「デジタル技術の活用により新たな社会に対応する図書館」に向けた取組

- ⇒
- ・公開中デジタルアーカイブを新システムに移行させるための準備を実施
 - ・オンラインによる複写物の提供（公衆送信）サービスを開始（新規）
 - ・図書館電算システムの更新に合わせ、Web サイトの利便性を向上（新規）
 - ・図書館電算システムの次期システムへの更新を実施（新規）

始め 8 事業

オ 「持続可能なサービス環境を備えた図書館」に向けた取組

- ⇒
- ・県の拠点図書館としての役割について理解を深め、司書職員の専門性の向上、育成を図る館内研修を実施
 - ・2027 年度から実施予定の長寿命化改修工事について、基本設計の予算を確保するため、関係各課と連携（新規）

始め 12 事業

4 図書館専門委員会での主な意見

2024 年 7 月 5 日（金）に 2024 年度図書館専門委員会を開催し、2023 年度事業の点検・評価及び 2024 年度の事業計画などについて、協議・検討を行った。委員からの意見は次のとおりである。

① 2023 年度事業の点検・評価について

- ・図書館の役割、目的が分かりにくくなっている中で、それを模索しながらその時々で方向（目標）を変えていくことが必要である。
- ・量的な評価だけでなく質的な評価も合わせられるとよい。

①について、専門委員会として了承した。

② 2024 年度の事業計画について

- ・読書バリアフリー推進チームの設置・オンラインでの複写物提供（公衆送信）など、興味深い新規事業などに期待している。
- ・市町村立図書館としては、県図書館が電子書籍として、やや専門的な書籍が多い KinoDen を導入していることがありがたい。
- ・若い人たちが同世代に本の素晴らしさを伝える主体的な活動を促進することを検討して欲しい。
- ・今の愛知県の記録を後世に残していく活動も今後検討して欲しい。
- ・図書館はサードプレイスとしての意義も大きくなっているため、そのあり方も検討して欲しい。
- ・愛知県の産業にまつわる資料など、愛知県図書館ならではの資料が多く保存されていることを知らない人が多いため、PR する必要がある。
- ・広報について、マスコミも上手に使っていただければと思う。

②について、専門委員会として了承した。

(別表) 2023年度事業の点検・評価及び2024年度の事業計画(詳細)

目指すべき姿	1 すべての県民の「知りたい」に応える図書館	
	評価: B	取組状況への評価Bの理由: 概ね順調に取組を進めることができた。障害を持つ方への郵送貸出サービスの拡充などに取り組むことができた一方で、アンケート調査による利用者満足度が目標に達しなかったため。

取組	(1) すべての県民への図書館サービスの提供	
	すべての県民が質の高い図書館サービスを受けることができるように努めます。県図書館への来館が困難な人へは、市町村立図書館等の協力を得たり、インターネットを利用したりして資料や情報を提供します。また、障害者、高齢者、外国人などへの図書館サービスの充実を図ります。	

主な施策	2023年度		2024年度	
	事業番号	事業内容及び取組状況	事業番号	事業内容

○誰でも利用しやすい図書館サービスの推進				
	1	県図書館から市町村立図書館等(学校(図書館)を含む)に向けて、年間16,000冊以上の協力貸出を目指します。【46再掲】 《取組結果》 ○県内図書館等への協力貸出 14,517冊・点(図書・雑誌・AV)	1	継続実施【46再掲】
	2	県内図書館等の蔵書横断検索システム「愛蔵くん」や「雑誌・新聞総合目録」を提供するとともに、内容の充実を図ります。【47再掲】 《取組結果》 ○「愛蔵くん」に、愛知県公文書館・したらの図書館の2つの蔵書検索システムを追加した。 ○「雑誌・新聞総合目録」は市町村立図書館からの提出データをもとに今年度版への更新を行った。	2	継続実施【47再掲】
	3	来館のほか、メールや電話によるレファレンスサービスを提供します。 《取組結果》 ○レファレンス件数 26,698件	3	継続実施
	4	電子書籍について、新たなタイトルの購入を継続し、コンテンツの充実を図ります。また、利用者拡大のため、効果的なPRの方策を検討・実施します。【68再掲】 《取組結果》 ○電子書籍へのアクセス件数 月平均5,380件 ○新規タイトル292点を購入した。 ○本棚の更新、SNSでの広報を継続中。 ○電子書籍サービス使い方講座を実施した(12/10)。	4	電子書籍について、新たなタイトルの購入を検討します。また、利用者拡大のため、効果的なPRの方策を検討・実施します。【68再掲】
	5	資料やサービス環境を整備し、利用者のニーズに応えるサービスの提供に努めます。また、アンケートの実施等により、今後のサービス内容検討のための資料とします。 《取組結果》 ○来館者アンケートでの「来館の目的が達成できた」が84.0%	5	継続実施

主な 施策	2023年度		2024年度	
	事業 番号	事業内容及び取組状況	事業 番号	事業内容
○障害者、高齢者、外国人など様々な県民への図書館サービスの充実				
	6	<p>読書に障害のある方へのサービスや資料の充実を図るとともにより多くの方に周知を行います。</p> <p>《取組結果》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○貸出、他館からの借受、制作（23点）により録音資料を提供した。 ○SNSでの広報、当事者団体や関係機関へ情報を提供した。 	6	<p>NEW !</p> <p>読書バリアフリー推進チームを立ち上げ、読書に障害のある方へのサービスや資料の充実を図るとともにより多くの方に周知を行います。</p>
	7	<p>NEW!</p> <p>障害を持つ方への郵送貸出サービスをより充実させます。</p> <p>《取組結果》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○精神障害者保健福祉手帳1級の県内在住者に対象を拡大した（9/10）。 	7	<p>障害により来館困難な方へ郵送による貸出を行います。</p>
	8	<p>大活字本、読み上げ機能に対応した電子書籍など、高齢者にもやさしい資料の充実に努めます。また、読書補助具の点検を行い、必要に応じて更新等を実施します。</p> <p>《取組結果》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○大活字本を選書。 ○読書補助具の点検を随時実施。 ○読み上げ機能に対応した電子書籍76点を新規タイトルとして追加。 	8	<p>継続実施</p>
	9	<p>多文化サービスコーナーの資料充実のため、各外国語図書や日本語学習用資料について、100冊を目標に収集します。</p> <p>《取組結果》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○多文化サービスコーナー用の各外国語図書及び日本語学習用資料を選書した。 ○配本冊数：153冊（うち電子書籍9冊） 	9	<p>継続実施</p>
	10	<p>多文化サービスコーナーの活用を図るためコーナーの利便性向上や効果的な広報に努めます。</p> <p>《取組結果》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各言語及びやさしい日本語による今年度版の案内を作成し、チラシの配布とWebサイトへの掲載を行った（11/30）。 	10	<p>継続実施</p>

取組	(2) 人の成長・学びを支える活動
	児童やティーンズを対象としたサービスや講演会・セミナーを始めとした生涯学習の支援など、人の成長・学びを支える活動を進めます。

主な 施策	2023年度		2024年度	
	事業 番号	事業内容及び取組状況	事業 番号	事業内容
○児童やティーンズに読書の楽しみを伝え知の力を育てる活動				
	11	<p>若い人たちに読書の楽しみを伝えるため、児童向け「おはなし会」や参加型イベントを実施するほか、ティーンズコーナー利用者に向けた資料展示や参加型企画（てこぼん大賞）を行います。また、インターネットやSNSなどによる情報発信を行います。</p> <p>《取組結果》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○おはなし会を月6回、あいち県民の日連携事業「秋のおはなし会」（11/24）を実施した。 ○夏のイベント・展示「シールでつくる花火大会」、「応援！読書感想文&自由研究」（7/14～9/13）を実施した。 ○ティーンズコーナー利用者に向けた資料展示（7/14～9/13）（12/15～2/28）と参加型企画（てこぼん大賞）（7/14～9/13）を実施した。 ○「ラーケーションの日」制度利用の来館者にしおり配布（9/1～）。 ○随時SNS等により情報発信した。 	11	継続実施
	12	<p>子供の読書活動推進のため、学校図書館の運営に対する助言や支援ができるよう体制を整備し、積極的に市町村立図書館や学校等へ職員を派遣します。【59再掲】</p> <p>《取組結果》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○県立尾北高校(4/7)、江西国際学園(3/8)を訪問し、学校支援サービスについて説明した。 ○教育委員会等主催の講座に講師・スタッフを派遣した。 <ul style="list-style-type: none"> ・県立高等学校司書教諭研修会（10/6）【主催：県教委高等学校教育課】 ・子供読書活動推進大会・高校生ビブリオバトル愛知県大会（11/3）【主催：県教委あいちの学び推進課】 	12	継続実施
	13	<p>県立高校等の児童・生徒による学習活動の発表の場としてYotteko等を活用した企画展示を実施します。【60再掲】</p> <p>《取組結果》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○以下の企画展示を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・愛知県統計グラフコンクール金賞作品パネル展（6/9～7/12）【県統計課】 ・定時制通信制生徒による作品発表会（9/15～10/11）【愛知県定時制通信制教頭・副校長会】 ・心の輪を広げる体験作文・障害者週間ポスター愛知県入選作品展（12/15～1/10）【県障害福祉課】 	13	継続実施
	14	<p>子供読書活動推進にかかわる関係機関や団体等と連携・協力し、イベントや企画展示を実施します。</p> <p>《取組結果》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○以下のイベントを実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・本の帯コンクール優秀作品巡回展示（6/9～6/18）【名古屋市教委】 ・青少年によい本をすすめる県民運動（9/15～11/8）【県社会活動推進課】 ・愛知県子供読書活動推進大会・高校生ビブリオバトル愛知県大会（11/3）【県教委あいちの学び推進課】 	14	継続実施

主な 施策	2023年度		2024年度	
	事業 番号	事業内容及び取組状況	事業 番号	事業内容
	15	若者・外国人未来応援事業（高校中退者等を対象とした高卒認定試験合格のための学習支援及び外国人を対象とした希望の進路実現のための日本語学習支援）を実施する教育委員会に協力し、会場や資料・学習場所の提供を行います。 《取組結果》 ○通年で実施した。	15	継続実施

○県民の知的欲求に応え生涯学習に資する講座等の開催

	16	愛知芸術文化センター（栄施設）の各施設や陶磁美術館、愛知県公立大学法人の各大学等と連携して、第一線の文化芸術活動を一般の方に紹介する講演会や企画展示を実施します。 《取組結果》 ○文化芸術に関する連続講座のうち、愛知県美術館と1回、愛知県陶磁美術館と2回連携、リベラルアーツカフェでは愛知県立大学と1回連携、二度目の旅は図書館からではあいち朝日遺跡ミュージアムと1回連携した。 ○講座と連携した企画展示を随時開催した。	16	継続実施
	17	利用者の調査研究を支援するため、各種データベースの活用講座などを実施します。 《取組結果》 ○新聞記事データベース使い方講座を開催した（2/7）。	17	継続実施
	18	健康に関する相談会・講座等の企画を専門機関や外部の団体と連携して実施します。 《取組結果》 ○がん相談会（6/30）、緩和ケア講座（10/17）、認知症サポーター養成講座（10/19）、認知症サポーターフォローアップ講座（11/5）を実施した。	18	継続実施

取組	(3) 県民の求める情報を提供するための資料・サービスの充実
	これまで力を入れてきたレファレンスサービスのさらなる充実に努めるとともに、拠点図書館としての役割を果たすべく継続的かつ計画的な資料の収集及び保存を行っていきます。

主な 施策	2023年度		2024年度	
	事業 番号	事業内容及び取組状況	事業 番号	事業内容
○レファレンスサービスのさらなる充実				
	19	レファレンスサービス関連の研修を、適切かつ効果的な手法を検討し実施します。 《取組結果》 ○レファレンス・インタビューについての館内研修を録画配信により実施した(11/9～11/27)。	19	継続実施
	20	利用者自身が調べる際の手助けとなる「調べ方ガイド」を充実させます。 《取組結果》 ○公開中の「調べ方ガイド」を点検し、使いやすいものに改訂した。	20	継続実施
	21	国立国会図書館のレファレンス協同データベースに、事例を20件以上登録します。 《取組結果》 ○レファレンス協同データベース事例登録（一般公開）20件	21	継続実施

主な 施策	2023年度		2024年度	
	事業 番号	事業内容及び取組状況	事業 番号	事業内容
○拠点図書館としての継続的かつ計画的な資料収集及び保存				
	22	拠点図書館としての役割を果たすとともに、魅力ある特徴的なコレクションを構築し、蔵書検索アクセス数が年間210万件以上となるよう努めます。 《取組結果》 ○蔵書検索アクセス数 3,064,972回	22	継続実施
	23	重点分野の資料について、自館購入資料の50%以上を占めるように努めます。 《取組結果》 ○購入資料について、重点収集分野の割合は、冊数45.1%だった。	23	重点分野の資料について、図書購入費全体の50%以上を占めるように努めます。
	24	非流通図書である社史、団体史等について、100点以上の受入れを目標に、必要な資料を調査・選定し、収集に努めます。 《取組結果》 ○寄贈依頼する社史を順次選定し寄贈を依頼した。今年度ビジネス資料コーナーで新たに受け入れた社史は193冊であった。	24	継続実施
	25	貴重和本をデータ化した資料や、新たにデータ化する資料を順次調査したうえで「貴重和本デジタルライブラリー」等のWebサイトで公開します。【69再掲】 《取組結果》 ○データ化した資料を調査したうえで、新たに16点を「貴重和本デジタルライブラリー」等のWebサイトで公開した（公開数1,147タイトル）。	25	NEW ! 公開中デジタルアーカイブを新システムに移行させるための準備を行います。【69再掲】
	26	補修の必要な革装図書の調査を行います。 《取組結果》 ○革装図書の補修必要冊数の調査計画案策定し、今年度分実地調査を完了した。	26	継続実施
	27	あいちラストワン・プロジェクトを運用方法の見直しの検討を行いながら効果的に進めます。【53再掲】 《取組結果》 ○参加館に対して事務処理に関するアンケート調査を実施し、資料保存ガイドラインを改正した。	27	あいちラストワン・プロジェクトを効果的に進めます。【53再掲】
○寄附制度（あいちBookサポーター等）を活用した資料の充実				
	28	「あいちBookサポーター」制度を活用し、資料の充実を図ります。 《取組結果》 ○「あいちBookサポーター」として7件（団体1件、個人6件）の寄附を受領し、660冊以上の図書等の充実を図った。	28	「あいちBookサポーター」制度をPRして企業や個人からの寄附の受け入れを継続し、資料の充実を図ります。
	29	NEW ! 「雑誌スポンサー制度」を活用し、雑誌等の充実を図ります。 《取組結果》 ○15の企業・団体から申込みがあり、37誌を2階に設けたコーナーで提供した。	29	「雑誌スポンサー制度」のPRに努め、提供雑誌のさらなる拡充を図ります。

取組	(4) 地域の文化・産業を支える図書館運営
	地域資料及びビジネス関係資料の充実を図ることで地域の文化・産業を支える図書館運営を行っていきます。

主な 施策	2023年度		2024年度	
	事業 番号	事業内容及び取組状況	事業 番号	事業内容
○豊富な地域資料やビジネス関係資料を用いた情報提供等による活動支援				
	30	<p>県内他機関のデジタルアーカイブ等地域資料情報へのリンクを整備し、Webサイトの「愛知県関係地域資料ポータル」を充実させます。【70再掲】</p> <p>《取組結果》 ○県内公共図書館のデジタルアーカイブ等地域資料情報にアクセスできるよう、Webサイト「愛知県関係地域資料ポータル」へのリンクを整備した（2/15）。</p>	30	継続実施【70再掲】
	31	<p>レファレンスへの対応に加えて、講演会や所蔵資料の展示事業も実施します。また、専門機関や外部団体との連携をとりながら、利用者のニーズに添ったビジネス支援ができるように努めます。</p> <p>《取組結果》 ○以下の展示及びイベントを開催した。 ・展示「創造力・無限大～高校生ビジネスグランプリに挑戦」（6/1-8-9）【連携：日本政策金融公庫】 ・展示「起業・事業承継を応援します」（1/12～2/28）、関連セミナー「モヤモヤがスッキリ！売れる！伝わる！ネット集客～効果の出るネット広告・SNS活用を一緒に考えます～」（2/3）【連携：日本政策金融公庫他】</p>	31	資料の収集、レファレンスへの対応に加えて、講演会や所蔵資料の展示事業も実施します。また、専門機関や外部団体との連携をとり、利用者のニーズを汲み取りながらビジネスに関する情報支援ができるように努めます。
	32	<p>NEW! 地方創生の核となる地方自治体職員をはじめとした、地域づくりに関わる方々への支援として、雑誌を含めた関連資料を集めたコーナーの設置を検討します。</p> <p>《取組結果》 ○2024年3月に、4階ビジネス資料コーナーの一角に「地方行政・まちづくり支援コーナー」を設置した。</p>	32	地域づくりに関わる方々への支援を目的とし関連資料を集めたコーナー「地方行政・まちづくり支援コーナー」について、資料の収集、広報につとめて充実を図り、利用されるコーナーを目指します。

目指すべき姿	2 情報発信・交流活動の拠点としての図書館	
	評価：B	取組状況への評価Bの理由： 概ね順調に取組を進めることができた。「あいち県民の日」関連展示・イベントの実施等、情報発信の拠点としての事業を実施できた一方で、SNSの閲覧数が目標に達しなかったため。

取組	(5) 情報発信の拠点化	
	1階エントランスYotteko（ヨッテコ）等で県の各局と連携して、企画展示や講演会を開催することにより、県政の情報発信拠点としての役割を果たすとともに、「見せる（魅せる）図書館」としての広報活動の充実を図ります。	

主な施策	2023年度		2024年度	
	事業番号	事業内容及び取組状況	事業番号	事業内容

○県政の情報発信拠点としてのYotteko（ヨッテコ）等の活用				
	33	1階エントランスYotteko（ヨッテコ）等で、県の各局や関係団体と連携・協力して企画展示や講演会を開催し、県政の情報発信と県図書館が所蔵する資料の一層の利活用を図ります。 <<取組結果>> ○「愛知県統計グラフコンクール金賞作品パネル展」や「愛知の公共職業訓練（ハロートレーニング）」等、県の各局や関係団体と連携・協力して企画展示を32回、講演会等イベントを6回開催した。	33	県の各局や関係団体と連携・協力して企画展示や講演会を開催し、県政の情報発信と県図書館が所蔵する資料の一層の利活用を図ります。

○見せる（魅せる）図書館としての広報活動の充実				
	34	SNS（Facebook、Twitter、YouTube）による情報発信を充実させ、県図書館の情報をより早く、広く提供します。 <<取組結果>> ○SNSの発信数と閲覧数 発信数：1,169件 閲覧数：727,515件	34	SNS（Facebook、X（旧Twitter）、YouTube）による情報発信を充実させ、県図書館の情報をより早く、広く提供します。
	35	館報「あゆち」及び「事業年報」を発行し、時宜に即した内容のものとなるようにします。 <<取組結果>> ○館報「あゆち」及び「事業年報」を11月に発行した。	35	継続実施
	36	マスメディアへの情報提供を積極的に行い、図書館の活動を広く知っていただけるようにします。 <<取組結果>> ○県政記者クラブ等への記者発表を積極的に実施した。 ○イベントや展示の開催に合わせて、新聞社への情報提供を実施した。	36	継続実施
	37	会議や研修、アウトリーチの場を使い、県図書館の広報に努めます。 <<取組結果>> ○県図書館を会場とした以下の行事において県図書館を紹介した。 ・愛知県公立図書館長協議会定例会(4/19) ・県民文化局局内研修(5/16) ・愛知県子供読書活動推進大会 高校生ビブリオバトル愛知県大会2023(11/3) ○久屋ぐるっとアートで「愛知県図書館報『あゆち』23号「特集 図書館と学ぶ愛知県事始め」パネル展」を実施した(11/2～11/5)。	37	継続実施
	38	県職員向け「県図書だより」を年間2回以上発行します。 <<取組結果>> ○2023年度vol.1を12月、vol.2を3月に発行。クリスマスイベントや3月設置の新コーナーを紹介した。	38	継続実施

取組	(6) 賑わい創出と県民の交流を促す場づくり
	Yotteko (ヨッテコ) 等を活用して、企画展示、イベントを行うことで、県図書館が賑わい創出と県民の交流の場となるよう努めます。 さらに、県民との協働、社会参加を促す図書館づくりに努めます。

主な 施策	2023年度		2024年度	
	事業 番号	事業内容及び取組状況	事業 番号	事業内容

○Yotteko (ヨッテコ) における交流の場としての新展開

39	<p>図書館資料を使った企画展示及び関係機関や団体と連携したセミナー、ワークショップなどのイベントを開催します。</p> <p>《取組結果》 企画展示・イベントの実施回数 ○展示：80回 ○イベント：96回</p>	39	継続実施
40	<p>話し合いができるグループ学習席など、人が集まり交流する明るい空間を提供します。</p> <p>《取組結果》 ○新型コロナが5類へ移行した5月から、グループ学習席を復活し、イベント開催なども実施した。</p>	40	継続実施
41	<p>NEW ! 新たに制定された「あいち県民の日」(11/27)に関連する展示やイベントを実施します。</p> <p>《取組結果》 ○以下の展示・イベントを実施した。 ・展示「あいちゆかりの人物」「あいちの社史」(11/10~1/10) ・イベント「秋のおはなし会」(11/24) ・イベント「環境レンジャーによるワークショップ 藤前干潟の生きものキャップを作ろう！」(11/24) ・講演会「古典籍の宝庫あいち」(11/27) ○11/27(月)を臨時開館し、貸出冊数・点数を通常より増やして貸出した。</p>	41	「あいち県民の日」(11/27)に関連する展示やイベントを実施します。
42	<p>NEW ! 指定管理者と連携したイベントを実施します。</p> <p>《取組結果》 ○指定管理者の自主事業として2月にレコードコンサート1回、蓄音機によるミニコンサート2回、期間限定のカフェメニューの提供を実施した。図書館では関連した資料展示を実施した。</p>	42	継続実施

○ボランティア活動の機会の提供

43	<p>NEW! 当館で活動する読み聞かせボランティアや、視覚障害者等への朗読ボランティアを対象とした研修会を実施します。また、読み聞かせボランティアを追加募集します。</p> <p>《取組結果》 ○朗読協力員研修講座研修会(9/14)、読み聞かせボランティア勉強会(11/15)実施した。 ○読み聞かせボランティアを追加募集(募集期間9/6~9/29)した。</p>	43	読み聞かせボランティアや視覚障害者等への朗読ボランティアの活動機会を提供するとともに、ボランティアを対象とした研修会を実施します。
----	--	----	---

主な 施策	2023年度		2024年度	
	事業 番号	事業内容及び取組状況	事業 番号	事業内容
○館内スペースの有効活用				
	44	<p>NEW ! 新しい場作りやゾーニングについて、他館の状況などの情報収集を行い検討します。</p> <p>《取組結果》 ○Yotteko での学校や団体での集団利用について、検討しながら3回試行した。 ○ふだん利用されていない場所を活用した展示を実施した。 (5階大会議室前壁面「アールブリュット展10周年記念関連展示」、2階EV前ロビー「ゲーテンベルグ聖書展示」)</p>	44	継続実施
	45	<p>若者や社会人の学習活動を支援するため、大会議室での学習室開放を実施します。</p> <p>《取組結果》 ○大会議室学習室開放 42回</p>	45	継続実施

目指すべき姿	3 ネットワークのハブとなる図書館	
	評価：B	取組状況への評価Bの理由： 概ね順調に取組を進めることができた。学校貸出用セットの用意や、県図書館を取り巻く団体との連携等、ネットワークのハブとしての事業を実施したが、協力貸出件数は目標を達しなかったため。

取組	(7) 市町村立図書館等への支援
	県民の身近にある市町村立図書館等がより質の高い図書館サービスを提供できるよう、資料の提供・保存、運営の支援、人材育成などの支援に一層力を入れていくとともに、県立学校等に対しても資料の提供、講師等の派遣により、連携を深めていきます。

主な施策	2023年度		2024年度	
	事業番号	事業内容及び取組状況	事業番号	事業内容

○市町村立図書館等への支援（協力貸出、運営支援、市町村の人材育成）				
	46	県図書館から市町村立図書館等（学校（図書館）を含む）に向けて、年間16,000冊以上の協力貸出を目指します。【1再掲】 《取組結果》 ○県内図書館等への協力貸出 14,517冊・点（図書・雑誌・AV）	46	継続実施【1再掲】
	47	県内図書館等の蔵書横断検索システム「愛蔵くん」や「雑誌・新聞総合目録」を提供するとともに、内容の充実を図ります。【2再掲】 《取組結果》 ○「愛蔵くん」に、愛知県公文書館・したらの図書館の2つの蔵書検索システムを追加した。 ○「雑誌・新聞総合目録」は市町村立図書館からの提出データをもとに今年度版への更新を行った。	47	継続実施【2再掲】
	48	安定した資料搬送のため、予算確保や運行の効率化に努め、週1回の資料搬送定期便を維持します。 《取組結果》 ○年間を通し、週1回の資料搬送定期便の運行を行った。 ○市町村立図書館職員に適切な利用方法を周知して効率化に努めるとともに、予算を確保し2024年3月から1年間の業者との契約を行った。	48	継続実施
	49	「@ライブラリー」の実施について、県図書館が愛知県公立図書館長協議会等のネットワークを通じて、企画調整や広報の充実を行います。 《取組結果》 ○「徳川家康-ドラマ放送記念！」（～11/30）及び「球技に挑戦！」（7/20～2/29）の開催について広報を実施。	49	継続実施
	50	県図書館の市町村立図書館へのサポートのニーズを把握し、それぞれの地域での読書推進活動に資するため、市町村の中央図書館のうち10館以上を、計画的に訪問します。 《取組結果》 ○市町村の中央図書館17館を訪問した。	50	継続実施
	51	図書館未設置自治体についても、公民館図書室等の施設や読書推進活動の担当課等を1以上訪問し、図書館未設置自治体での読書推進活動を把握します。 《取組結果》 ○南知多町町民会館図書室及び南知多町師崎公民館児童図書分館を訪問した（11/30）。	51	継続実施

主な 施策	2023年度		2024年度	
	事業 番号	事業内容及び取組状況	事業 番号	事業内容
	52	図書館未設置市町村に対して、貸出文庫の貸与のほか、相互貸借を拡充します。 《取組結果》 ○第1回発送(7/11、4町村6施設) ○第2回発送(11/7、4町村6施設) ○第3回発送(3/26、4町村6施設) ○貸出文庫担当者会議で相互貸借の利用について周知した(3/1)。	52	継続実施
	53	あいちラストワン・プロジェクトを運用方法の見直しの検討を行いながら効果的に進めます。【27再掲】 《取組結果》 ○参加館に対して事務処理に関するアンケート調査を実施し、資料保存ガイドラインを改正した。	53	あいちラストワン・プロジェクトを効果的に進めます。【27再掲】
	54	愛知図書館協会等のネットワークを活用し、県内図書館の状況の把握と研修に対する要望を踏まえ、時宜に適した内容の研修を、適切かつ効果的な手法を検討し実施します。 《取組結果》 ○以下の研修を実施した。 ・愛知県公立図書館長協議会第1回研修～第4回研修、新任者研修 ・愛知県公立図書館長協議会YAサービス連絡会研修 ・愛知図書館協会児童サービス研修連続講座第1回～第4回、ステップアップ研修 ・愛知図書館協会レファレンスサービス研修拡大講座①、②、演習①、② ・愛知図書館協会拡大講座 ・愛知図書館協会資料保存研修 ・愛知図書館協会IT研修	54	継続実施
	55	NEW! 県図書館と市町村立図書館職員との人事交流を試行実施します。【80再掲】 《取組結果》 ○参加自治体(知立市、豊明市、豊川市)及び派遣対象職員を決定した。 ○市立図書館への職員派遣を2市2名実施(知立市へ1名、豊明市へ1名) ○県図書館への職員派遣を2市2名受入(豊明市から1名、豊川市から1名) ○参加者及び参加館に対し事後アンケートを実施した。	55	NEW! 県図書館と市町村立図書館職員との人事交流を本格実施します。【80再掲】
○県立学校等との連携				
	56	県立学校最寄りの市町村立図書館を経由した協力貸出について、学校訪問等によってニーズを確認し、対象学校を拡大します。 《取組結果》 ○市町村立図書館経由で貸出を利用する学校数 28校(新規対象校:一宮高校、岩倉総合高校、三好高校、吉良高校、いなざわ特別支援学校、一宮南高校)。	56	継続実施
	57	県図書館から学校(図書館)に向けて年間3,500冊以上の協力貸出を目指します。(市町村立図書館等への協力貸出と合わせて16,000冊以上) 《取組結果》 ○学校(図書館)への協力貸出 4,167冊・点(図書・AV)	57	継続実施

主な 施策	2023年度		2024年度	
	事業 番号	事業内容及び取組状況	事業 番号	事業内容
	58	<p>NEW! 課題解決学習を始めとした探究活動や修学旅行等の事前学習の際に幅広く活用していただけるよう、テーマごとの学校貸出用セットを用意し、県立学校等への貸出しを行います。</p> <p>《取組結果》 ○5月10日より学校貸出用セットの貸出しを開始した。</p>	58	継続実施
	59	<p>子供の読書活動推進のため、学校図書館の運営に対する助言や支援ができるよう体制を整備し、積極的に市町村立図書館や学校等へ職員を派遣します。【12再掲】</p> <p>《取組結果》 ○県立尾北高校(4/7)、江西国際学園(3/8)を訪問し、学校支援サービスについて説明した。 ○教育委員会等主催の講座に講師・スタッフを派遣した。 ・県立高等学校司書教諭研修会(10/6)【主催：県教委高等学校教育課】 ・子供読書活動推進大会・高校生ビブリオバトル愛知県大会(11/3)【主催：県教委あいちの学び推進課】</p>	59	継続実施【12再掲】
	60	<p>県立高校等の児童・生徒による学習活動の発表の場としてYotteko等を活用した企画展示を実施します。【13再掲】</p> <p>《取組結果》 ○以下の企画展示を実施した。 ・愛知県統計グラフコンクール金賞作品パネル展(6/9～7/12)【県統計課】 ・定時制通信制生徒による作品発表会(9/15～10/11)【愛知県定時制通信制教頭・副校長会】 ・心の輪を広げる体験作文・障害者週間ポスター愛知県入選作品展(12/15～1/10)【県障害福祉課】</p>	60	継続実施【13再掲】

取組	(8) 広域図書館ネットワークの活用
	東海・北陸地区の県立図書館のネットワークを活用した広域的な相互貸借体制を維持、発展させていくなど、広域図書館ネットワークの活用を図ります。

主な 施策	2023年度		2024年度	
	事業 番号	事業内容及び取組状況	事業 番号	事業内容
○東海・北陸地区図書館の相互貸借や研修の相互受講				
	61	<p>東海北陸地区公共図書館協議会等の場で、研修の相互受講について、提案・意見聴取します。</p> <p>《取組結果》 ○東海北陸地区県立・指定都市立図書館長会議(9/26)で提案し、意見を聴取した。</p>	61	<p>NEW! 東海北陸地区公共図書館研究集会を、集合形式のほか、オンライン形式を採用し、参加受講しやすいうように開催します。</p>
○国立国会図書館との連携強化				
	62	<p>国立国会図書館が提供する「JAPAN/MARC(ジャパンマーク)」を利用した書誌データの安定的な運用を進めます。</p> <p>《取組結果》 ○JAPAN/MARC運用中。 ○新国立国会図書館サーチ移行(1/4)に対応した。</p>	62	継続実施

取組	(9) 図書館を取り巻く機関との連携強化
	図書館だけでなく、博物館、美術館、公文書館、大学、観光・商工団体等、県図書館を取り巻く多様な団体と連携、協力を図り、県図書館のさらなる認知度向上、利用者増を図っていきます。

主な 施策	2023年度		2024年度	
	事業 番号	事業内容及び取組状況	事業 番号	事業内容
○愛知芸術文化センター栄施設との連携				
	63	<p>愛知芸術文化センター栄施設を中心として行われるイベントなどに合わせて、文化芸術活動を一般の方に紹介する講演会や資料の展示を実施します。</p> <p>《取組結果》</p> <p>○文化芸術に関する連続講座2023「愛知県美術館企画展『幻の愛知県博物館』のちょっとディープな楽しみ方」を開催した(7/15)。関連図書展示も実施(6/21～8/27)。</p> <p>○久屋ぐるっとアート(会場：愛知芸術文化センター等)に展示で参加した(11/2～11/5)。</p>	63	継続実施
○博物館、美術館、公文書館、大学、観光・商工関係など多様な機関との連携				
	64	<p>県公文書館と連携・協力して、県図書館と県公文書館が所蔵する地域資料・県関係行政資料の利活用を促進します。</p> <p>《取組結果》</p> <p>○愛知県公文書館企画展「新・収蔵資料展～古文書にみる尾張の町と三河の村～」関連展示を実施した(10/13～11/8)。</p>	64	継続実施
	65	<p>観光情報コーナーについて、県の担当局、県内市町村の観光関係当局、地域の観光協会等と連携し幅広い観光情報の収集・提供を実施し、充実を図ります。</p> <p>《取組結果》</p> <p>○県内市町村の観光関係当局、地域の観光協会、市町村立図書館等に観光情報の提供を依頼した(5/24、10/3)。</p> <p>○新たに関係機関担当者向けと、利用者向けのチラシを作成、配布した。連携強化、情報の充実、効果的な広報を図った(10/3)。</p> <p>○県内観光に関わる企画展示・イベントを実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 企画展示「二度目の旅は図書館から～」天下統一はじまりのまち 清須を歩く～(2/9～4/10) 講演会「模型で見る弥生時代の暮らし」(2/23) 	65	観光情報コーナーについて、県の担当局、県内市町村の観光関係当局、地域の観光協会等と連携し幅広い観光情報の収集・提供を実施し、充実を図ります。また、商工関係の団体や機関へ図書館の活動を周知するとともに、連携を図ります。
	66	<p>東三河コーナーについて、県東三河総局、東三河8市町村の観光関係当局等と連携・協力し、東三河の観光情報の幅広い収集・提供を実施します。また、東三河の自然・文化等を紹介する企画展示を実施します。</p> <p>《取組結果》</p> <p>○「愛知県図書館と東三河地域の市町村及び観光団体との地域振興にかかる情報発信の連携・協力に関する協定」の連携先等に観光情報の提供を依頼した(5/24、10/3)。</p> <p>○図書展示コーナー開設、継続的に展示実施した(6/8～)。</p> <p>○新たに関係機関担当者向けと、利用者向けのチラシを作成、配布。連携強化、情報の充実、効果的な広報を図った(10/3)。</p> <p>○東三河の自然・文化等を紹介する企画展示を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 展示「第12回徳つとネット東三河フォトコンテスト入賞作品展」(連携：東三河総局)(3/15～4/10、エントランス Yotteko) 	66	継続実施

主な 施策	2023年度		2024年度	
	事業 番号	事業内容及び取組状況	事業 番号	事業内容
	67	<p>子育ての方に役立つ他の機関や団体のチラシやパンフレット類を常備し、案内・配布します。</p> <p>《取組結果》 ○子ども向けのイベントや子育て関連のチラシ等を児童室内に常備し、案内・配布した。</p>	67	継続実施

目指すべき姿	4 デジタル技術の活用により新たな社会に対応する図書館	
	評価：B	取組状況への評価Bの理由： 概ね順調に取組を進めることができた。チャットボットの導入等、非来館型サービスの充実を進めることができたが、電子書籍のアクセス件数が目標に達しなかったため。

取組	(10) 非来館型サービスの充実	
	デジタル技術の活用により、電子書籍やデジタルアーカイブの充実、オンライン利用登録の拡充など、非来館型サービスの充実を推し進めます。	

主な施策	2023年度		2024年度	
	事業番号	事業内容及び取組状況	事業番号	事業内容

○電子書籍の充実				
	68	電子書籍について、新たなタイトルの購入を継続し、コンテンツの充実を図ります。また、利用者拡大のため、効果的なPRの方策を検討・実施します。【4再掲】 《取組結果》 ○電子書籍へのアクセス件数 月平均5,380件 ○新規タイトル292点を購入した。 ○本棚の更新、SNSでの広報を継続中。 ○電子書籍サービス使い方講座を実施した(12/10)。	68	電子書籍について、新たなタイトルの購入を検討します。また、利用者拡大のため、効果的なPRの方策を検討・実施します。【4再掲】

○デジタルアーカイブの充実				
	69	貴重和本をデータ化した資料や、新たにデータ化する資料を順次調査したうえで「貴重和本デジタルライブラリー」等のWebサイトで公開します。【25再掲】 《取組結果》 ○データ化した資料を調査したうえで、新たに16点を「貴重和本デジタルライブラリー」等のWebサイトで公開した(公開数1,147タイトル)。	69	NEW! 公開中デジタルアーカイブを新システムに移行させるための準備を行います。【25再掲】
	70	県内他機関のデジタルアーカイブ等地域資料情報へのリンクを整備し、Webサイトの「愛知県関係地域資料ポータル」を充実させます。【30再掲】 《取組結果》 ○県内公共図書館のデジタルアーカイブ等地域資料情報にアクセスできるよう、Webサイト「愛知県関係地域資料ポータル」へのリンクを整備した(2/15)。	70	継続実施【30再掲】

○オンライン利用登録の推進				
	71	オンライン利用者登録を周知し、便利に使っていただけるような広報や案内を行います。 《取組結果》 ○利用カードの有効期限通知及びオンライン更新案内メールを配信開始した(5/12)。 ○県内公共図書館等に利用促進ちらしを送付した(11/24)。	71	継続実施

○オンラインによる複写物の提供（公衆送信）の検討				
	72	NEW! オンラインによる複写物の提供（公衆送信）について、他機関等からの情報収集を行い、サービス提供に向けて検討を進めます。 《取組結果》 ○他県等からの情報収集を行いながら、必要な規程等の整備や事務体制について検討した。2024年度中の実施に向けて準備を進める。	72	NEW! オンラインによる複写物の提供（公衆送信）について、サービスを開始します。

取組	(11) DXを意識したサービスの提供
	ポーンデジタル資料(※)の収集・保存・提供、Webサイトの利便性の向上を図るなど、DXを意識したサービスの提供を行っていきます。
	(※)ポーンデジタル資料：紙媒体ではなくデジタルのみで発行、公開される資料。

主な 施策	2023年度		2024年度	
	事業 番号	事業内容及び取組状況	事業 番号	事業内容
○ポーンデジタル資料の収集、保存、提供				
	73	<p>NEW! 県・市町村が発行したポーンデジタル資料を収集・保存し、当館のWebサイトで閲覧できる仕組みを試行します。</p> <p>《取組結果》 ○市町村のポーンデジタル行政資料を選書した。 ○9/20に県の各所属へ依頼文書を発出。選書されたタイトルの収集・保存について個別に照会した。 ○継続収集中。 ○2/28公開（試行）開始。103冊公開中。</p>	73	<p>NEW! ポーンデジタル行政資料の収集・公開について、特に県行政資料の効率的な収集を検討します。</p>
○Webサイトの利便性の向上等				
	74	<p>NEW! Webサイトの利便性を向上させるため、Webサイト上で簡易な問合せに対応できるチャットボットを導入します。</p> <p>《取組結果》 ○AIチャットボットを9月29日から導入した。</p>	74	<p>NEW! 図書館電算システムの更新に合わせて、Webサイトの利便性を向上させます。</p>
○図書館電算システムの更新				
	75	<p>NEW! 図書館電算システムの次期システムへの更新に向けて、利用者にとってより利便性の高いシステムづくりの検討を進めます。</p> <p>《取組結果》 ○2025年3月の次期システムの導入に向けて、県情報政策課の情報システム適正化事業の支援を受けながら準備を行った。</p>	75	<p>NEW! 図書館電算システムの次期システムへの更新を確実に進めます。</p>

目指すべき姿	5 持続可能なサービス環境を備えた図書館	
	評価：B	取組状況への評価Bの理由： 概ね順調に取組を進めることができた。持続可能なサービス環境を整えるため、閉架書庫内の書架の増設などを実施したが、講師派遣や学協会での発表件数が目標を達しなかったため。

取組	(12) 充実したサービスを企画・提供する職員の育成
	県図書館が今後も持続可能なサービスを提供し続けていくため、図書館を支える人材の育成とともにサービス水準の向上に努めます。

主な施策	2023年度		2024年度	
	事業番号	事業内容及び取組状況	事業番号	事業内容

○デジタル対応など先進的サービスを提供するための人材育成				
76	76	<p>県の拠点図書館としての役割について理解を深め、司書職員の専門性の向上、育成を図る館内研修について、10回以上実施できるように努めます。</p> <p>《取組結果》</p> <p>○実施館内研修 図書館の複写サービスにおける注意事項について、図書館の効果的な広報について、コンプライアンス、図書館司書専門講座受講報告、愛知県公立図書館長協議会2023年度第1回研修会(これからの図書館運営)の動画視聴、県公文書館について、防災訓練、愛知図書館協会レファレンスサービス研修拡大講座の動画視聴、市町村立図書館への派遣研修報告、地域資料研修、図書館でのトラブル対策、イベント広報のためのポスター・チラシ作成法、愛知県における図書館事業の沿革</p>	76	県の拠点図書館としての役割について理解を深め、司書職員の専門性の向上、育成を図る館内研修を実施します。
	77	<p>司書職員としての専門性をより高め、サービスの提供に必要な最新の情報を提供する研修の受講を促します。</p> <p>《取組結果》</p> <p>○職員研修の受講者数 延べ 761人(館内 580人、外部 181人)</p>	77	継続実施
	78	<p>デジタル技術や統計学、広報手法等関連領域の研修(e-ラーニング等非対面型の研修含む。)に職員の受講を促します。</p> <p>《取組結果》</p> <p>○関連領域の研修の受講者数 延べ62人(統計4、デジタル34、広報24)</p>	78	継続実施

○市町村立図書館支援に資する職員の育成				
79	79	<p>市町村立図書館等への職員の講師派遣や学協会等での発表(会報や学協会誌等での文献発表を含む)を年間20回以上実施します。</p> <p>《取組結果》</p> <p>○講師派遣や学協会での発表で18件21名を派遣した。</p>	79	継続実施
	80	<p>NEW! 県図書館と市町村立図書館職員との人事交流を試行実施します。【55再掲】</p> <p>《取組結果》</p> <p>○参加自治体(知立市、豊明市、豊川市)及び派遣対象職員を決定した。</p> <p>○市立図書館への職員派遣を2市2名実施(知立市へ1名、豊明市へ1名)</p> <p>○県図書館への職員派遣を2市2名受入(豊明市から1名、豊川市から1名)</p> <p>○参加者及び参加館に対し事後アンケートを実施した。</p>	80	NEW! 県図書館と市町村立図書館職員との人事交流を本格実施します。【55再掲】

取組	(13) 持続可能な施設管理等
	来館者が安全・安心かつ快適に施設を利用することができるよう、県図書館内の体制づくりを進めます。

主な 施策	2023年度		2024年度	
	事業 番号	事業内容及び取組状況	事業 番号	事業内容
○新たなサービスに対応するための施設改善検討				
	81	来館者のどなたでも使えるフリーWi-Fiを全館的に運用します。 ≪取組結果≫ ○Aichi_Free_Wi-Fiを運用している。	81	継続実施
	82	NEW! 閉架書庫の書架を増設します。 ≪取組結果≫ ○閉架書庫の一部に、固定書架(約3万冊収容予定)の設置が完了した。	82	閉架書庫の書架未設置区画について、全面設置に向けた予算の確保を目指します。
	83	地域の拠点図書館としての保存機能を維持するとともに、利用者サービス(閲覧の容易さ、図書の探しやすさ)を向上させるために、資料収蔵スペースを有効に活用できる方法を検討します。 ≪取組結果≫ ○増設した固定書架に収容する資料をはじめ、閉架書庫内の資料の配置の見直し、書庫内資料が出納や開架から閉架への配転がしやすい配置を館内で検討している。	83	地域の拠点図書館としての保存機能を維持するとともに、利用者サービス(閲覧の容易さ、図書の探しやすさ)を向上させるために、資料収蔵スペースを有効に活用できる方法を引き続き検討します。
○施設老朽化への対応				
	84	施設の老朽化に伴う必要な改修工事を以下のとおり実施します。 ・中央監視制御装置改修工事 ・中央監視室系統パッケージエアコン更新工事 ≪取組結果≫ ○中央監視制御装置改修は、6月9日に、同日から2月15日までの工期で契約を締結した。 ○パッケージエアコン更新工事は、8月4日に、同日から3月15日までの工期で契約を締結した。	84	施設の老朽化に伴う必要な改修工事を以下のとおり実施します。 ・電話交換設備更新工事
	85	NEW! 将来的な大規模改修工事の検討を見据えて他施設の状況を調査します。 ≪取組結果≫ ○他館の大規模改修工事に向けた準備過程を調査するとともに、基本設計に向けた必要な取組みについて、関係各課と連携して準備した。	85	NEW! 2027年度から実施予定の長寿命化改修工事について、基本設計の予算を確保するため、関係各課と連携します。
○災害、感染症等の危機管理対応				
	86	災害への対応について、業務継続計画(愛知県庁BCP、地方機関BCP)の運用や防災訓練の実施等により、適切に事業継続できる体制を整えます。 ≪取組結果≫ ○事業継続計画、防火訓練のうち、体験訓練の見直しを図り、適切に運用できるようにした。	86	継続実施
○施設管理における指定管理者による効率的な管理				
	87	指定管理者との連絡会議を毎月実施し、効果的な連携を図ります。 ≪取組結果≫ ○毎月開催し、指定管理者及び文化芸術課との連携を図った。	87	継続実施